



# かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和4年4月

発行責任者：坂本りょうへい

岡山県笠岡市大宜605

電話：0865-66-1818

皆様にはますます健勝のこととお慶び申し上げます。

新年度が始まり、新学年・新会社など様々な想いを胸に新しい一步を踏み出す頃です。世界情勢は厳しい方向に向かっていますが、日々笑顔で過ごせる当たり前を大切にしていきたいと思います。ここに3月定例議会が終了しましたのでご報告をさせていただきます。

## 3月定例議会（会期 2/22 - 3/24）

3月定例議会が開催され、一般会計補正予算や令和4年度予算や水道事業などを含む特別会計予算が提案され審査をしました。

### ◆◆一般会計補正予算を審査しました◆◆

国庫支出金を活用した事業が多くあり提案された事業は概ね可決しています。

#### 【削除した事案】

- ・未来こども教育基金積立金事業／10,000万円
- ・こども善行表彰／40万円

地元企業からの寄付金1,000万円を基金として積立しようとするもの。現行の基金を改定して対応するとの提案だったが寄付者の意向と事業が精査されていない、もっと現場に即した活きた寄付金の活用をしてほしいと削除しました。

### 質問第1号 人権擁護委員候補者の推薦に対して

今回、人権擁護委員の任期満了における再任、欠員による新任候補者の推薦事案が提出されました。この提案に対して賛成7／反対10で不同意という結果となりました。

#### 坂本の目

選定理由や個人の情報に対してわかりにくいという反対意見が出されました。不同意という結果は今後の人権擁護委員の活動に対して大きな影響を与えるものであり、当該者に対してもキチンとした説明をすると共に早急に健全な形へと戻す必要があると強く思います。

### ・笠岡市農業委員会委員の任命同意について

農業委員会委員の任期満了における再任・新任案件が提出されましたが農業委員及び議会への説明が足らず事務手続き上の不備があったとして執行部より提案撤回の申し出があり承認しました。

日々の活動報告を配信中



### 【令和4年度予算新規事業（抜粋）】

#### ・分庁第2解体事業／1億1,550万円

分庁第2（旧郵便局）の解体にあたり周辺家屋調査を行い解体するものです。

#### ・庁舎トイレ整備事業／632万円

これまで懸案だった議会棟横、定住促進センター奥のトイレを改修するものです。

#### ・こども議会／8万6,000円

中学生の視点で笠岡市の現状や課題の把握・認識を行い質問書の作成や回答、本会議までを体験してもらう事業です。

#### ・SDGsシンポジウム事業／170万円

市制施行70周年記念式典で行う「(仮称)プラスチックごみゼロ宣言」に合わせて市内中高生を対象としたSDGsシンポジウムを開催します。

#### ・70周年いっしょにshowやあ事業／320万円

市制施行70周年を記念する民間イベントを助成する事業です。施設減免や事業に対し15万円を助成します。(お問い合わせ：企画政策課)

#### ・日本遺産認定の島！

「笠岡諸島」の魅力再発見ツアー事業／140万円  
市民を対象とした笠岡諸島に訪れる魅力発見ツアー(季節毎に全5回実施 1回20名を予定)

#### ・小中一貫校整備事業／2,203万円

令和8年金浦中学校に一貫校実施にむけた検討委員会設置費用や基本計画策定、測量設計の委託費用。

坂本の目 いよいよ一貫校設置に向けた動きが始まります。所管する総務文教委員会でも子ども達の出生数を加味した検討や、教員・保護者地域の意見を反映するようにと強く依頼しています。



皆様の声、地域の声を教えてください。  
皆様の声を活動の指針として参ります。

**kasaoka.mirai@gmail.com**

### ・マイナンバー普及促進事業／606万円

マイナンバーの普及率を上げるための施策。今回はスマートフォンなどを所持していないなどの理由からマナポイント事業の活用ができない75歳以上の方を対象としてマイナンバーを取得した際に3,000円の市内共通券を贈呈する事業です。



### 【令和4年度予算より削除された事業】

#### ・子育てステーション整備・運営事業／9,547万円

子育て環境の充実図るために商業施設のフロアを賃借し子育て世代が自由にゆったりと過ごせる芝生エリアや多目的スペース、行政手続きや相談窓口や会議室などを設置する事業。

◆参考にしたのは近隣市の例であるが民間と行政のコンセンサスもとれ費用が掛からないものです。提案された事業は一連の説明や情報共有もなされないまま上程され、整備費用だけでなく毎年3,000万円を超える固定費がかかることから削除としています。

#### ・仮説観客席設置事業／309万7,000円

岡山シーガルズVリーグ公式戦が昨年笠岡で開催され本年も開催されます。その観戦に対して間近で観戦していただきたいと仮説観客席を設置する事業。

◆今回の予算はコロナ対策による国庫支出金を充てたものであり、昨年は一般財源からの支出をしている。本来、貴重なコロナ予算は市民の安心安全コロナ対策に使うべきであり支出が間違っているとして削除しています。※笠岡でのVリーグ公式戦は令和5年1月21日・22日開催です。

### 坂本の目

新型コロナウイルス感染症における国庫支出金は大きな財源となっており地方自治体にとっては様々な事業に使っているのが現状です。あるから使えば良いではなく、キチンと使途を明確にし、より市民に寄り添ったものへとしていただきたい。

### 笠岡市まちづくり協議会条例制定について

まちづくり協議会の位置づけを明確にするために条例を制定する議案が総務文教委員会にて審査され継続審査となりました。

### 坂本の目

審査内では「笠岡市みんなが輝くまちづくり条例」と前文が同じでありどれを優先するのか、分かりにくいとの声がありましたが、この条例は受け皿である、みんなが輝くまちづくり条例に、まちづくり協議会の柱を立て明確な位置づけにするものであり、前文である根の部分は同じです。

長期にわたり協議している

案件で継続審査に対して反対の立場をとらせていただきました。



### 笠岡市西部エリアのまちづくり構想について

(2022.3.4 代表質問より)

2025年開通予定の国道2号バイパス及び(仮称)笠岡西インターチェンジの設置を見据え、すでに西部エリアの物流や人流が変わってきたと現在どういった地域づくり構想を描いているのかを尋ねました。

Q. 宅地造成や安全対策、交通渋滞緩和も含め井原福山港線における周辺整備をどうするのか。

A. 利便性が非常に高い地域となるため産業振興に資する施設の誘導や周辺環境との調和に配慮した計画的な土地利用の誘導を図っていきます。

Q. 金浦中学校区3校統合における小中一貫校と3園統合における子ども園(私立園含む)がどのように地域と連携し、幼小中の学びの連携していくのか。

A. 中学校区における発達段階に応じた到達目標を定め、就学前の各施設や3つの小学校、中学校が足並みをそろえて同じ目標で取り組みます。また公民館が今後の地域の連携を担う形になります。

Q. 昭和二十七年に笠岡市になって以降は駅を中心で発展してきた、バイパス開通などを機に笠岡西部エリアの重要性を問います。

A. 今後、福山東部との連続性も固めていくことが笠岡市の発展に大きな礎になる。企業誘致・農業生産拠点・住居も含め、あらゆる意味で開発し経済を牽引する役割の方向性をはっきりと出します。



坂本の目 コンパクトシティ構想で緩やかに駅前へと考える中、バイパス開通、スマートIC、近隣への利便性を考えても新たな可能性を考えるべきだと考えます。その構想に合わせ農地転用など開発に係る見直しを行うことが必要ではないかと意見をしています。

### 調査特別委員会(百条委員会)の経過報告

予算請求に係る事案で笠岡市初の百条委員会が設置されました。これまで10回を数える委員会が開催がされ担当部長や課長、監査委員から承認喚問を実施しています。至った経緯や予算請求までの流れなど、事実確認を続けているところです。

### 議員報酬について

議員報酬についての請願書と署名が提出された件は、請願者と紹介議員の間で意思共有がなされておらず継続審議となりました。また報酬については現行通り据え置きとしています。(重みを真摯に受け止め今後も活動してまいります)